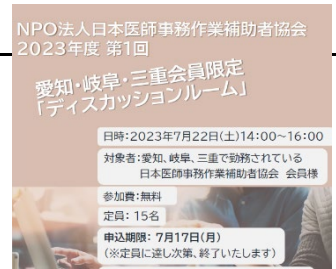


2023年度第1回 愛知・岐阜・三重会員限定実務者セミナー

「ディスカッションルーム」活動報告

開催： Zoomによるオンライン開催 場所： 総合大雄会病院

参加者： 6名（支部世話人含む）



【内容】

まずは自己紹介から。お名前、ご施設名、登録している診療科について、本日のお供（飲み物など）教えていただいてからスタートしました。

・ NCD登録の経験年数

NCD登録が開始された2013年より開始している方が2名。他は前任者からの引き継ぎされ、5-8年の経験と、もう1名は新たに登録業務が3ヶ月前に開始された方でした。

登録診療科は、外科3名、循環器2名、心臓血管外科1名、形成外科1名、呼吸器外科1名（重複あります）でした。

各施設の医師事務作業補助者の中でNCD登録を行っている人数は3/12名、2/22名、4/16名と分母の割に少ない印象でした。

・ マニュアル等作成しているか/引継ぎや業務分担を考えているか

皆さんマニュアルというものは特に作成されていませんでした。

不明な個所は医師へ直接確認をしている方が大半で、NCD登録自体を誰かに引き継ぐ予定もないといった状況でした。というのも、担当診療科制であること、登録に関しては期限が急ぎではないため、急ぎの仕事を優先しても自身で登録が可能であり、優先順位から外れるためとの事でした。

ただ、サポート的な感じで登録業務の指導している施設も中にはありました。

・ 循環器内科のレジストレーションについて

アプリを使用し連携させて登録を行っているがエラーの対応をどうしているのか知りたい。

今回同じように登録している参加者がおらず問題解決には至りませんでした。

エラーの個所が不明であったり、医者でなければ分からないような項目もあり、まだまだ課題がありそうな印象でした。

・ 外科の追跡調査に関して

乳癌の追跡調査は行っている。

膵癌、乳癌はアナウンスがあるのでそれを確認した時点で行っている。

臓器がん登録に関しては遡り調査行っている。

・ 外科手術の術式選択について

手術の選択肢がとても多い。どれを選択するべきか事務局に問い合わせをしたところ、施設で統一して下さいとの返事。他の施設はどうしているのか知りたい。

→同じように問合せし同じ返答だったため、当院のルールを決めて「この場合はこの術式」というようにした。

・ 登録のタイミングについて

手術件数、誰が手術に入ったか確認してから登録している。

前月分は翌月中に登録出来るよう、サマリー記載されているか確認をしてから登録している。

サマリーが記載されているか確認し、毎週金曜日に医師と内容を確認しながら承認作業を行っている。

他の業務の兼ね合いもあるので、締切間近での登録になってしまう。

・ データの再利用をしているか

ほとんどの施設が再利用していませんでした。医師が欲しいデータがNCDで登録したものと別のものであったりするため、院内で診療録管理室などに依頼をしている。別でデータをとっているなどがありました。

【NCD事務局に是非依頼したい事柄】

- ① 隣手術時の郭清部位がとても多い。エラーが出た際、どこがエラーなのか探しづらいため、表示方法を変えてもらいたい。
- ② 日中にメンテナンス作業が行われる事が多いため、出来れば深夜など時間外に行って欲しい。日中の登録作業に影響がでるため。
- ③ データの活用方法ではなくて、NCD登録方法に関する勉強会を開催して欲しい。
- ④ 外科の症例登録に関して、助手の一覧が抽出できるようにして欲しい。

NCD事務局からは、事務方が登録した方が制度が高いと言われている。

心臓血管外科では学会で登録についても勉強会が開催されているため、そういった勉強会があれば良いのに。との意見もありました。

【愛知・岐阜支部に依頼したい事柄】

- ① 指導者のセミナー

【まとめ】

登録開始当初より業務を行っている方もみえましたが、それでも悩みや相談事項があり、登録業務と言っても知識もとても重要になってくると感じました。

医師に直接確認を取らなければならない事もあり、コミュニケーションスキルも必要であると感じました。

指導者側のセミナーの実施なども、支部活動で出来ないかと提案いただいたので、地方会や実務者セミナーでは難しいかも知れないが、こういったディスカッションルームなど小さい会で開催する事も今後検討していきたいと考えました。

ご参加の皆様、活発なご意見ありがとうございました。



報告者：愛知・岐阜支部
支部長 永田ここの

